

熊本県監査委員公告第15号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項及び第4項の規定により平成30年6月11日、12日及び7月2日に実施した病院局の定期監査結果に関する報告を決定したので、同条第9項の規定により、次のとおり公表する。

平成30年8月6日

| | |
|---------|-------|
| 熊本県監査委員 | 濱田義之 |
| 同 | 竹中潮 |
| 同 | 氷室雄一郎 |
| 同 | 田代国広 |

1 監査対象期間

平成29年度

2 監査の主眼

- (1)財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているかどうかを主眼として実施した。
- (2)経営に係る事業の管理が合理的かつ能率的に行われているかどうかを主眼として実施した。

3 監査の結果

財務事務の執行及び事業の経営管理については、おおむね適正と認められたが、監査の際に確認された課題のうち、指摘事項は次のとおりである。

(1) 障害者雇用促進企業等からの追加見積について

前々年度監査及び前年度監査において、障害者雇用促進企業等を1者追加して見積書を徴取していないことを課題としていたが、今年度の監査においても、産業廃棄物の収集運搬業務及び処分業務委託等において、追加徴取されていない。

障害者雇用促進企業等からの物品等の調達に関する要綱に基づき、障害者雇用促進企業等を1者追加して見積書を徴取すること。

〈参考〉

「指摘事項」とは、以下のような事柄に該当し、改善が必要とされる課題である。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 法令、条例、規則又は通知・通達に違反し、事務の執行が不適正となっているもの(2) 未収金解消対策が的確に講じられていないもの(3) 予算の執行又は財産管理等において、適正を欠くもの(4) 故意又は重大な過失により、不経済や損害を生じさせたもの(5) 経済性、有効性又は効率性が著しく低いもの(6) 事務・事業の執行に当たり、是正又は改善が必要であると認められるもの(7) 前年度監査において注意事項とされていた事項で是正又は改善がされていないもの |
|---|